

# 錦糸町わくわく通信

2021.7  
第34号

●お問合せ●  
東都よみうり新聞社  
TEL.03-6663-9010

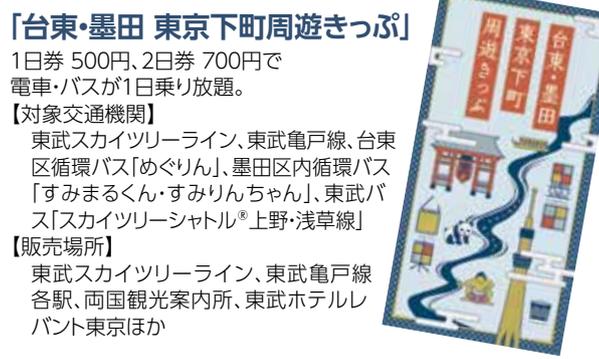


## 東武グループ × 映画「HOKUSAI」非接触型の周遊ラリー 「『富嶽三十六景』を集めろ!」

【期間】  
6月10日(木)～  
8月9日(月)

【浮世絵シールラリー】  
葛飾北斎の浮世絵「富嶽三十六景」にゆかりのある8つのスポットで画像撮影し所定の配布所でシールをもらい、指定の台紙(ダウンロードも可)を完成させる。コンプリートするとオリジナル黒扇子と交換できる。

【TOBU POINTスタンプラリー】  
アプリ「TOBU POINT」内から参加。駅や観光施設、ホテルなどが所にあるQRコードを読み取って集める。全スポットを集めると「声のマスク」がもらえる。  
【問合せ】東武鉄道お客さまセンター  
TEL.03-5962-0102



【台東・墨田 東京下町周遊きっぷ】  
1日券 500円、2日券 700円で  
電車・バスが1日乗り放題。

【対象交通機関】  
東武スカイツリーライン、東武亀戸線、台東区循環バス「めぐりん」、墨田区内循環バス「すみまろくん・すみりんちゃん」、東武バス「スカイツリーシャトル」上野・浅草線  
【販売場所】  
東武スカイツリーライン、東武亀戸線各駅、両国観光案内所、東武ホテルレバント東京ほか

東武グループと映画「HOKUSAI」のコラボで行われる2種類の周遊ラリー。「台東・墨田 東京下町周遊きっぷ」を使ってお得に葛飾北斎ゆかりの地を巡る下町散策はいかがでしょう。

その 浮世絵シールラリー 参加方法

- 1 スポットに行く
- 2 シール貼り付け欄の画像を参考に写真を撮る
- 3 シール配布所で写真を見せる
- 4 シールを貰って貼る
- 5 完成!

※シールラリー商品 TOBU「HOKUSAI」ロゴ入り黒扇子 全席の端末利用禁止に大変人気です。  
※シール交換は対象エリア枠に交換してください

その TOBU POINTスタンプラリー

TOBU POINTアプリ内のスタンプラリーからご参加ください。参加するには、TOBU POINTの会員登録(無料)をお願いいたします。

- 1 アプリを開きスタンプラリーを押す
- 2 スポットのQRコードを読み取る
- 3 全てのスポットを集めて景品交換へ

※複数回の端末利用は無効  
※参加には端末の位置情報サービスの設定 ON  
マスク会食にも便利な、「声のマスク」がもらえる!



浮世絵シールラリーの台紙

## 新日本フィルハーモニー交響楽団

### すみだサマーコンサート2021

真夏のプラス祭！夏にピッタリな名曲を楽しもう。指揮の大井剛史さん、サクソフォン上野耕平さんによるアフタートークも会場を盛り上げます。7月15日まで、新日本フィルウェブサイトのカウントダウン・カレンダーに掲載する動画を募集中！（7月21日まで掲載）

【日時】7月22日（木・祝）14:00開演

【プログラム】メンデルスゾーン：劇付随音楽『夏の夜の夢』より抜粋ほか

【出演】指揮：大井剛史 サクソフォン：上野耕平

【チケット】一般：4,000円／シルバー（65歳以上）：3,000円／墨田区在住・勤・学\*：3,000円／小・中学生、高校生：1,000円

\*新日本フィル・チケットボックスお電話のみの取扱 ※小学生以上入場可

【問い合わせ・チケット購入】

新日本フィル・チケットボックス

TEL.03-5610-3815

（平日10～18時、土曜日10～15時、日・祝休）



大井 剛史 (c)K.Miura



上野 耕平 (c)S.Ohsugi

## フウガドールすみだ

### 新監督で始動！

### 「フウガドールすみだ」の応援よろしくお祈いします

今季就任した荻窪孝新監督は、2015年まで選手としてチームに所属し、引退後は下部組織の監督として各年代を指導してきました。須賀雄大監督から引き継いでこれから「フウガドールすみだ」のさらなる戦力強化をめざします。

現チームは、16.村上拓也選手、19.甘利斗亜選手、27.太田圭選手、31.崔輝実選手の4人が下部組織から昇格してメンバーになりました。



甘利・崔選手は中学生から、太田選手は小学生の時からフットサルをプレーし、墨田で育ってきた選手です。

7・8月はオリンピックとフットサルW杯のためFリーグの試合は中断期間となります。ホームゲームは10月22日ペスカドーラ町田戦から再開予定です。

応援よろしくお祈いします！

## 錦糸町Worker 街を語る

※このコーナーでは錦糸町に職場がある方に街との関わりについて語ってもらいます。第1回目は、「錦糸町を元気にする会」現会長で団体の発足当時を知る東京楽天地・小笠原功さんに話を聞きました。

—— 「錦糸町を元気にする会」はどんな団体ですか。

小笠原：錦糸町で働く人や住む人が垣根を越えて情報交換や交流ができる場として2013年7月に設立しました。現在は約40の法人・団体・個人事業主が会員となり、月1回の定例会では墨田区の産業振興・観光担当者もオブザーバーとして参加しています。楽天地、錦糸町プラザ、PARCO、テルミナ、丸井、アルカキットといった錦糸町を代表する商業施設のほか東武ホテル、アルカタワーズなど北口の大型施設、料飲組合の飲食店や地元の名士なども会員に含まれています。

—— 異業種交流の中で規模が大きく多様な構成ですが、どういう経緯で発足したのですか。

小笠原：現在の形でスタートしたのは8年前でしたが、さらに3年遡る2010年ごろから東京スカイツリー開業を見据えた地域活性化に関心を持つ有志によってネットワークが作られ始めました。それまで錦糸町は様々な企業のオフィスや店舗が集積しているにもかかわらず、町会や商店街の組合などを除いて相互交流の場がなく、隣の情報が分からないままバラバラに事業を展開していました。しかし、それではスカイツリー開業で人流が変わる時に観光客に通過されてしまう町になるのではないかと、危機感を抱いた人



「錦糸町を元気にする会」

小笠原 功会長

（株式会社東京楽天地・常務取締役）



情報共有の場になる定例会

たちが「何とかしよう」と一歩を踏み出したかたちです。一方で、楽天地やテルミナなどの商業施設間でも季節のイベントやバーゲンの日程に足並みが揃わない状況を改善しようと、2012年ごろから「商業施設連絡会」として担当者同士が定期的な情報交換の機会を持つようになりました。

—— 働きに来ている人達の中から「町を変えなくては」という動きがあったのですか。

小笠原：当時のメンバーの間でも飲食店マップ作りや街歩きなど来訪者の回遊を促す企画に取り組んでいましたが、予算や事務局がないままで限界があり正式な団体として設立することになりました。これまでの活動として「錦糸公園桜まつり」の運営を地元町会から引き継いだほか、コロナ以前は「すみジャズ」「錦糸町河内音頭」「わんぱく相撲墨田区大会」などのイベント当日にお手伝いの人材を出していました。私は廣田達夫会長を継いで二代目の会長を務めさせていただいてますが、会の活動はボランティアなので決して無理をして行わないことを常に会員に呼び掛けている。できる人ができる時に参加するかたちがうまく機能していると思っています。

—— 最後になりますが、錦糸町の街についてどのような印象を持っていますか。

小笠原：錦糸町というと 歓楽街などの「昭和の香りがするディープな街」というイメージで作られたイメージが根強いですが、私がここに勤務してからの10年間で街に来る人の年齢構成が全く変わりました。最近20～30代の子育て世代が主流となっています。彼らの需要を満たす数多くの商業施設や公園、文化施設などが狭い範囲の中で揃っているのが錦糸町です。この街には、住みたい街の上位にランキングされる吉祥寺に匹敵するぐらいのポテンシャルがあると思っています。未来の錦糸町像については、これからできるだけ多くの人と共有していきたいと思っています。

（2021年5月31日取材）



「錦糸公園桜まつり」が2年連続で中止になった今春は、エッセンシャルワーカーへの感謝や応援の気持ちを伝えるブルーライトアップを行った